

# J R 総連通信

2022年5月18日 No.1552

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

## 2022年5連協・沖縄平和研修！

2022年5月14日～16日



JR総連は5月14日～16日、日本復帰50年を迎えた沖縄で「5連協・沖縄平和研修」を開催してきました。

一日目は、辺野古のテント村を訪れ「ヘリ基地反対協議会」の浦島事務局次長より、これまで住民投票で「辺野古の新基地建設反対」の民意が示されながらも、強行されている新基地建設の状況



辺野古テント村で色紙を渡す

についてお話しをいただきました。その後、嘉数高台を訪れ、オスプレイが目の前を飛行する中、住宅密集地に広がる普天間基地を視察し、沖縄国際大学への墜落など危険と隣り合わせの生活が強いられていることや、嘉数では沖縄戦で多くの住民が戦禍に巻き込まれた歴史(住民の53%が戦死・集落の33%が一家全滅)を学びました。

二日目は沖縄戦を中心に、日本軍が本土決戦に備えた時間稼ぎのために南部へ撤退する中で、多くの住民が巻き込まれていった歴史に触れ、ひめゆりの塔、梯梧の塔、魂魄の塔で、献花をおこない黙とうを捧げてきました。糸数アブチラガマでは壕に入り、ボランティアで遺骨収集をおこなっている方にガイドしていただき、生きて壕を出ることが叶わなかった方が多くいた事実をお話しいただきました。

三日目は、旧海軍司令部壕を訪れ、住民が避難していた壕との違いを実感してきました。

参加者からは、「ロシアのウクライナ侵攻で、日本も防衛力強化を求める世論が高まっているが、軍隊は住民を守らないことを実感した」などの感想が述べられました。研修を通じて学んだことを、職場の仲間に伝えていくことを全体で確認して研修を終えました。



ひめゆりの塔